

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



カンファレンスコール

2013年度 第3四半期決算（2013年4月1日～2013年12月31日）

第一三共株式会社

説明者：取締役専務執行役員 管理本部長 坂井 学

開催日時：2014年1月31日(金) 15:00～16:00

第3四半期累計 連結業績 前年同期比較



Daiichi-Sankyo

単位:億円

連結業績

	2012年度 第3四半期	2013年度 第3四半期	前年同期比
売上高	7,456	8,071	+614 +8.2%
売上原価	2,302	2,666	+363
販売費及び 一般管理費	4,219	4,404	+186
研究開発費	1,318	1,370	+51
一般管理費	2,900	3,035	+134
営業利益	935	1,001	+65 +7.0%
経常利益	957	885	-72 -7.6%
当期純利益	515	749	+234 +45.4%

為替 レート	USD/円	80.01	99.39
	EUR/円	102.18	132.24

うち ランバクシーグループ(連結調整前)

2012年度 第3四半期 (1-9月)	2013年度 第3四半期 (1-9月)	前年同期比
1,463	1,336	-128 -8.7%
610	711	+101
630	590	-40
61	73	+12
570	517	-52
223	35	-188 -84.4%
230	-111	-341
155	-92	-247

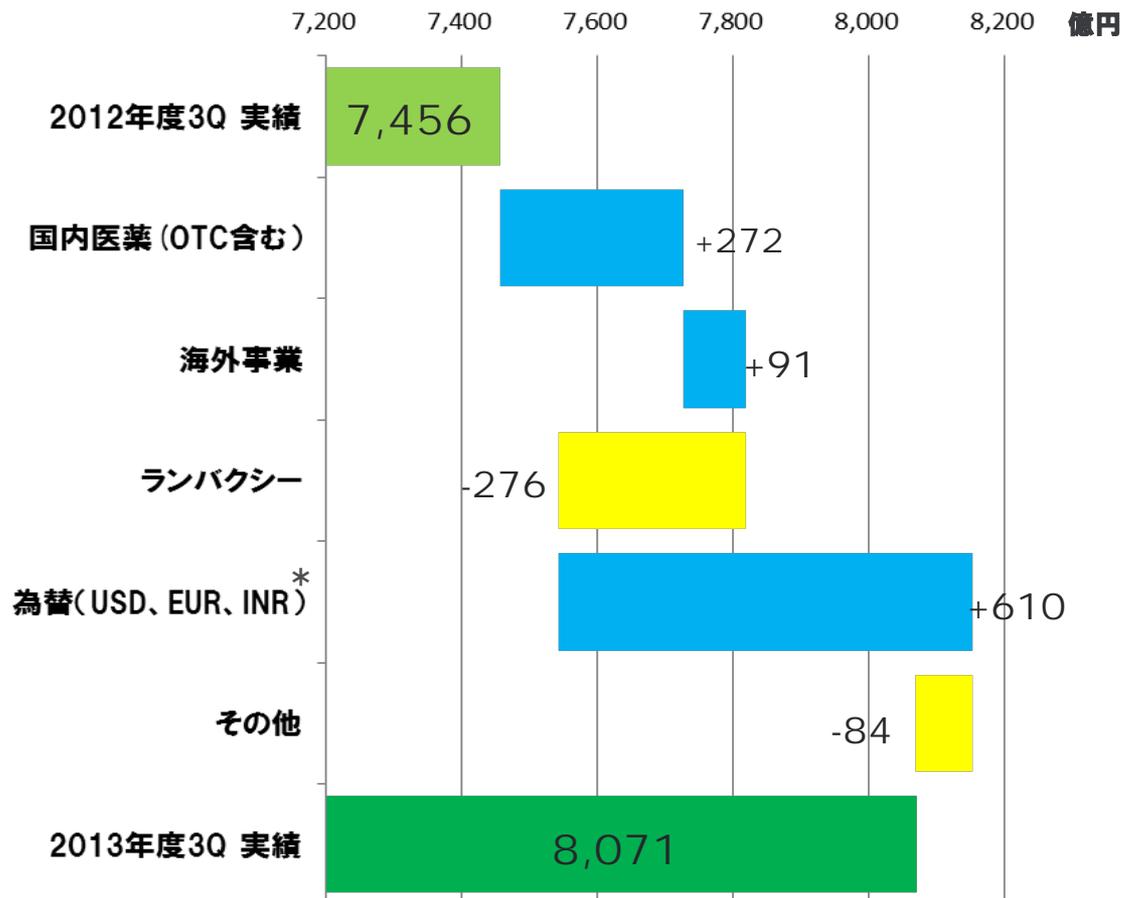
INR/円

1.50	1.69
------	------

第3四半期累計 売上高 増減

増収要因
表示：+

減収要因
表示：-



国内医薬

- 増収: ネキシウム +275、メモリー +65、ランマーク +28、ワクチン類 +21
- 減収: メバロチン -28

海外事業

- 第一三共 Inc. (DSI) -4
- ルイトホルド (LPI) -80
- 第一三共ヨーロッパ (DSE) +33
- アジア/中南米 (ASCA) +142 (為替影響含む)

ランバクシー (RLV)

- アトルバスタチンの寄与等(前期)

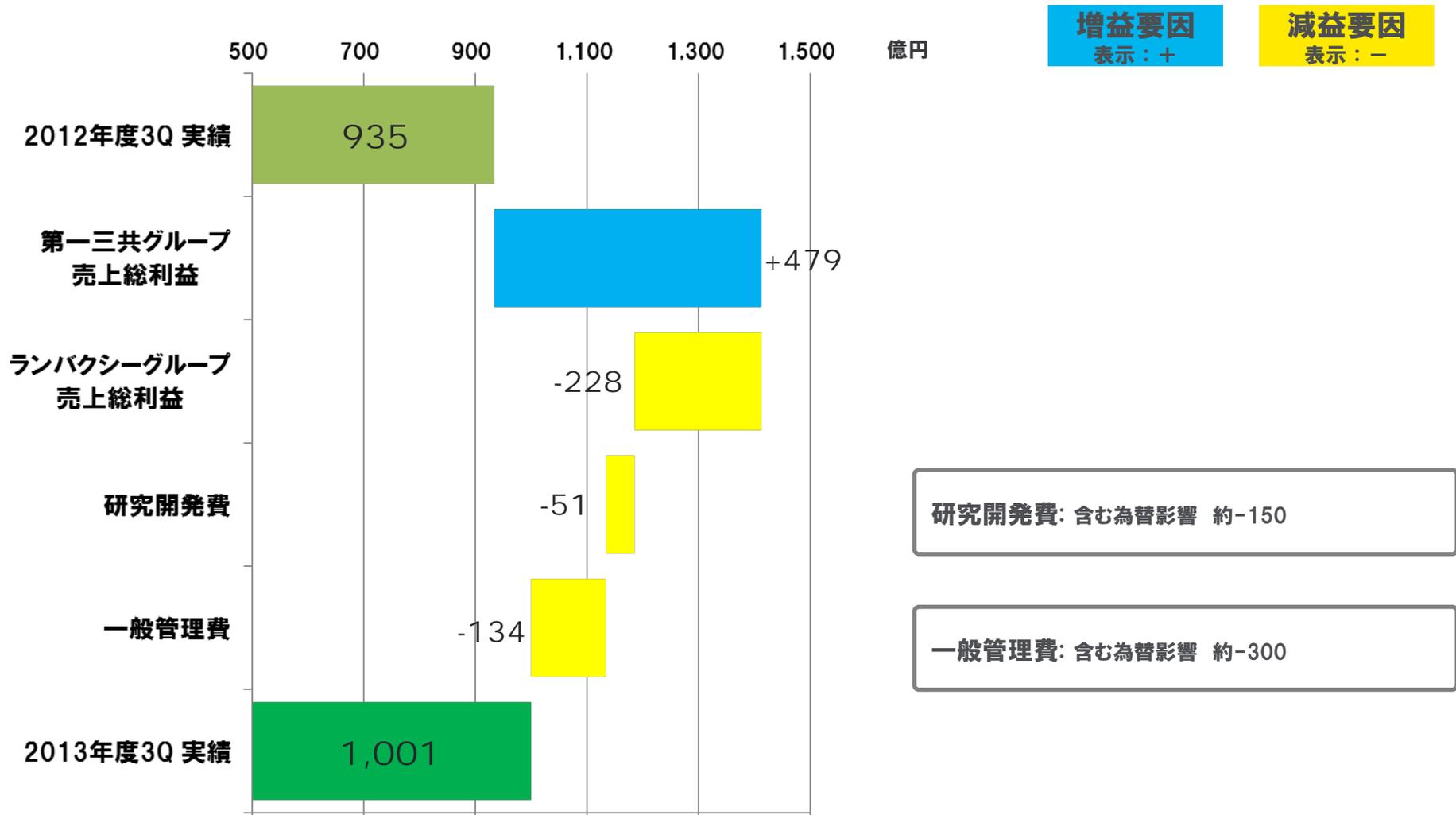
為替の影響額

USD: 約+320, EUR: 約+140, INR: 約+150

*為替
レート

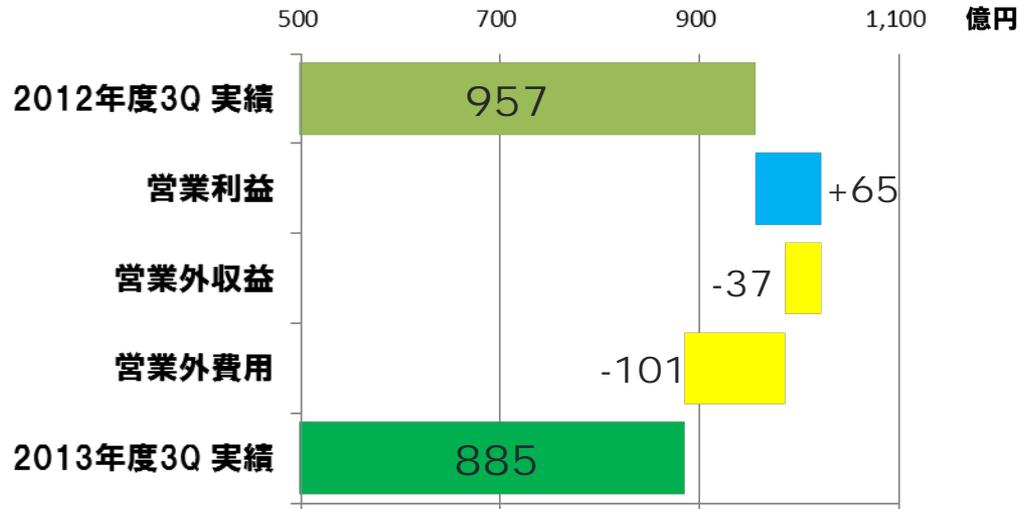
	2012年度 3Q実績	2013年度 3Q実績
USD/円	80.01	99.39
EUR/円	102.18	132.24
INR/円	1.50	1.69

第3四半期累計 営業利益 増減



第3四半期累計 経常利益/当期純利益 増減

経常利益

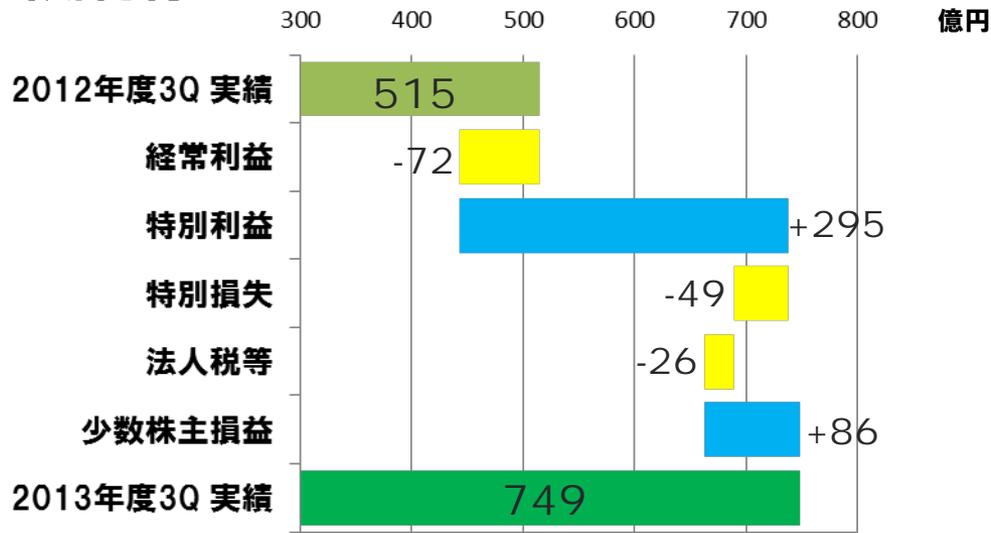


増益要因
表示：+

減益要因
表示：-

営業外費用：RLLの為替差損増加等

当期純利益



特別利益：固定資産・投資有価証券売却益等

特別損失：欧州における事業再編等

少数株主損益：RLL等が損失に転じたことに伴う
会計上の損益の戻入処理

国内主要製品別 売上高推移および見通し

単位:億円

		2012年度 第3四半期	2013年度 第3四半期	2013年度	
				通期見通し	進捗
オルメテック	高血圧症治療剤	585	604	830	73%
レザルタス	高血圧症治療剤	126	141	210	67%
ロキソニン	消炎鎮痛剤	459	468	610	77%
ネキシウム	抗潰瘍剤 (プロトンポンプ阻害剤)	127	402	520	77%
クラビット	合成抗菌剤	271	259	350	74%
メモリー	アルツハイマー型 認知症治療剤	174	239	340	70%
アーチスト	高血圧症治療剤	171	171	220	78%
メバロチン	高コレステロール血症 治療剤	199	170	220	77%
オムニパーク	造影剤	155	155	190	82%
ユリーフ	排尿障害治療剤	84	88	120	73%
ランマーク	癌骨転移治療剤	30	58	70	83%

主要R&Dパイプライン

領域	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	承認申請
循環代謝	<ul style="list-style-type: none"> ■ DS-7309 (糖尿病/グルコキナーゼ活性化剤) ■ DS-8500 (糖尿病/GPR119作動薬) ■ DS-1442 (脂質異常症/CETP阻害剤) ■ DS-1040 (急性期虚血性脳血管障害/TAF1a阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-3150 (日) (高血圧症・糖尿病性腎症/MR拮抗薬) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-747 (日) (プラスグレレル/虚血性脳血管障害/抗血小板剤) ■ CS-747 (米) (プラスグレレル/鎌状赤血球/抗血小板剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-747 (日) (プラスグレレル/PCI/抗血小板剤) ■ DU-176b (日米欧) (エドキサパン / AF / 経口FXa阻害剤) ■ DU-176b (日米欧) (エドキサパン/VTE/経口FXa阻害剤)
癌	<ul style="list-style-type: none"> ■ U3-1565 (米日) (抗HB-EGF抗体) ■ DS-2248 (米) (HSP90阻害剤) ■ DS-7423 (米日) (PI3K/mTOR阻害剤) ■ DS-3078 (米欧) (mTOR阻害剤) ■ DS-3032 (米) (MDM2阻害剤) ■ PLX7486(米) (Fms/Trk阻害剤) ■ DS-8895(日) (抗EPHA2抗体) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ U3-1287 (米欧) (Patritumab/抗HER3抗体) ■ PLX4032 (米欧) (Vemurafenib/BRAF阻害剤) ■ PLX3397 (米) (Fms/Kit/Flt3-ITD阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ARQ 197 (米欧) (Tivantinib/肝細胞癌/Met 阻害剤) ■ AMG 162 (日) (デノスマブ/乳癌補助療法/抗RANKL抗体) ■ DE-766 (日) (ニモツズマブ/非小細胞肺癌/抗EGFR抗体) ■ DE-766 (日) (ニモツズマブ/胃癌/抗EGFR抗体) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AMG 162 (日) (デノスマブ/骨巨細胞腫/抗RANKL抗体)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ DS-8587 (感染症/トポイソメラーゼ阻害剤) ■ CS-4771 (セブシス/TLR4阻害剤) ■ PLX5622 (関節リウマチ/FMSキナーゼ阻害剤) ■ CS-0777 (免疫抑制/S1P受容体モジュレーター) ■ DS-1093 (腎性貧血/HIF-PH阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DS-5565 (グローバル) (慢性疼痛/$\alpha 2\delta$リガンド) ■ SUN13837 (米欧) (脊髄損傷/bFGF様細胞分化誘導体) ■ ASB17061 (米) (アトピー性皮膚炎/キマーゼ阻害剤) ■ CS-8958 (米欧) (ラニナミビル/抗インフルエンザ/ビオタと導出活動中) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DR-3355 (日) (レボフロキサシン水和物/感染症/ニューキノロン系抗菌剤) ■ AMG 162 (日) (デノスマブ/関節リウマチ/抗RANKL抗体) ■ DS-7113 (ヒドロモルフォン/癌性疼痛/μオピオイド受容体作動薬) 	

◆2013年10月(2013年度Q2決算発表)以降のステージアップ品目

IFRS適用による2013年度通期業績予想の概算値

単位:億円

	日本基準	IFRS(試算)	差異
売上高	11,100	11,100	0
営業利益	1,050	1,050	0
税引前利益 (*1)	1,020	950	-70
当期純利益 (*2)	650	650	0

*1: 営業外損益および特別損益につきましては、IFRSにおいて金融収益/費用として計上される金融関係以外は、営業利益に含まれております。

*2: IFRSにおける当期純利益は、日本基準との比較のベースを合わせるため、親会社所有者帰属の当期純利益を表記しております。

本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126 (報道関係者の皆様)

03-6225-1125 (株式市場関係者の皆様)

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。